

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	歩いてつながる地域の輪
事業主体 (連絡先)	生坂村役場 健康福祉課 (0263-69-3500)
事業区分	保健・医療・福祉の充実
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	1,541,492円 (うち支援金: 1,232,000円)

事業内容

- ウォーキング教室の開催
平成28年度からの継続事業として、松本大学田邊ゼミによる教室を実施。歩き方やトレーニング方法に関する内容の映像を作成し、啓発に使用。
- 歩こう部の発足
教室参加者が中心となり、誰でも気軽に村内コース等を歩ける部活として、毎月2回実施。
- それから通信発行
平成28年度からの継続事業として、4回発行。
- からだづくりポイント制度
教室や歩こう部への参加者にポイントを付与し特典を贈呈。参加の動機づけ、楽しみとして定着。



【歩こう部の開催】

【目標・ねらい】

- ①ウォーキング人口の増加
- ②ウォーキング習慣のある住民が、今後も意欲的に継続できる

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

ウォーキング教室では、教室前後で実施した体力測定では、ウォーキングやトレーニングによる効果が認められた。ウォーキングによる効果を実感している教室参加者が、歩こう部へ知人等を誘うなどし、中には効果を自覚する継続参加者もいた。

また、それから通信の発行等を通じて、健康意識の高さを問わず、村内外にこの取組をPRできた。

さらに、参加者へのポイント付与、特典を贈呈によって、参加の動機づけ、楽しみとして定着した。

※自己評価 【A】

【理由】

これまでの継続した取り組みにより、今後も継続可能な基盤ができ、さらなる展開が期待できるため。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

村の課題である高血圧の改善、それによる医療費や介護給付費の増加抑制のために、歩こう部を主軸としウォーキング人口を増やす取組や、ウォーキング普及のための取組は続けていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある